

一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 3年 11月 25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 18番 土屋 利絵

質問事項 1	今後のコロナウイルスの影響を乗り越えていくために
具体的内容	
1	新型コロナの第6波に備えた医療体制の整備について
2	経済的な支援策の広報と、新たな支援策について
3	今後のコロナワクチン接種体制について
(1)	3回目接種の詳細と、予約体制の改善について
(2)	三島市内の医療機関の現在の状況と課題、今後について
(3)	副反応の件数と対応の仕方について
(4)	感染した方と、ワクチンを打たない方へのフォロー、接種を強制しないこと等について
(5)	PCR検査への助成について
4	こども配食支援事業について
(1)	児童相談所との連携について
(2)	対象の拡大と無料化について
質問事項 2	超高齢社会に向けて、街中に小規模特別養護老人ホームの可能性について
具体的内容	高齢者が増え、医療機関に入院したくても、できない世の中が必然的にやってまいります。街の道路を病院の廊下と考えると、街全体を病院や施設にいるかのように、安心して暮らしていける街づくりを模索していかなければなりません。施設から家庭に戻すというより、「地域に戻していく」試みが必要です。
1	現状について
2	小規模特養を活用していくことを、次期、高齢者事業計画に反映させていく可能性について
質問事項 3	アフターコロナを見据えた三島駅南口東街区再開発を考える
具体的内容	具体的に何をつくれれば市民のニーズに応えられ、市民の健康づくりや福祉向上に繋がるのか。更なる市民サービスの充実になるのかは、三島駅周辺グランドデザインに基づき、市民の皆様のご意見を纏めて、庁内が一丸となって、しっかり検討する必要があると思います。そして、私たちは、この間、裾野市にコネクティッド・シティができること、コロナ後の街づくりになっていくなど、社会の大きな転換を迎えています。もう一度、今のコンセプトでいいのか、今の再開発でいいのか、柔軟に考えていくことが必要だと考えます。
1	三島市としては、現状においては、医療健康福祉子育て等の拠点形成に向け、具体的にどのようなものを設置したいと考えているのか。
2	アフターコロナを見据えた田園都市構想によるまちづくりについて